**式辞**

**皆さん、おはようございます。今日はまず始めに、１月１日の能登半島地震と１月２日の航空機衝突事故で亡くなられた方々への哀悼の意を表し、黙とうを捧げたいと思います。私の声の後、黙とうをお願いします。**

**２０２４年、令和６年がスタートしました。冬休みは充実した日を過ごすことができたでしょうか。**

　**さて、今年の十二支（えと）は「辰年、龍（りゅう）」です。龍は力の象徴であり、植物の成長に欠かせない水をつかさどる恵みの神としてあがめられてきました。新たな成功を目指して、何かに挑戦するのに最適な年とも言われているとのことです。**

**３学期が今日から始まります。３年生４１名は希望進路の実現に向けて、いよいよ受験本番に臨みます。義務教育９年間の総まとめにもなります。２年生は３年生からのバトンを引き継ぎ、５８名一人一人の色を輝かせながら、皆さんが目指す野村中をどう作っていくか、１年生５０名は２年生を支えながら先輩としての準備をどう行っていくか、各自とそれぞれの学年が今まで築き上げてきた土台をさらにしっかりとしたものにして成長していくために、目標を具体的にして、この３学期を送ってください。**

**皆さんが立てた目標を達成するためには、行動を起こすことが必要です。行動しない限り目標を達成することはありません。大事なのは「何を言ったか」ではなく「何をしたか」です。言葉もとても大切な役割を持っていますが、目標を達成するためには、言ったこと、思っていることを本気で行動に移さない限り実現することはありません。**

**今、私たちが生きている時代は、何事もなく生きたいと願っても、思うように生きられない時代です。これからの時代、皆さんが将来の夢や目標を実現するために、厳しい現実と向き合いながら挑戦していく力を身に付けるための土台を、まず自分自身が行動することで作っていくことが大切です。中学生である皆さんがそのために今できることは、楽しいことだけでなく、しんどいことから逃げずに挑戦することになります。うまくいかなくてもいいです。結果ではありません。うまくいかなかったとしても、苦しいことから逃げずチャレンジしたというその取組と経験がしっかりした土台作りへとつながっていくのです。私自身も皆さんに求めるだけでなく、言ったことを行動で示し続けていくことを心掛けていきます。**

**正月には能登半島の大地震、翌２日には航空機の衝突事故と衝撃的な出来事が立て続けに起こりました。１日の夜は、テレビから何度も繰り返されるアラームの音が、穏やかに迎える予定だった正月の日常を一変させました。今回の地震で帰省していた娘さん２人を一度に失った方が取材で「妻は泣いてばかりで何も手につかない。朝から晩まで泣いとる。」と話されていました。今回の災害で亡くなられた方々は、令和６年をどんな年にしたかったのだろう、これから先どんな未来を描いていたのだろうと思うと、言葉が出てきません。**

**今という時間は戻ってきません。時間は命と同じで限りあるものです。急いで生きる必要はありませんが、「今」という時間は「この先自分が目指す目標、もしくは自分が目指すものを見つけるための準備時間」と考えて大切にして生活してほしいという思いから、先ほど皆さんに「しんどいことから逃げずに挑戦していこう」という言葉を投げかけました。**

**人の歩むスピードはそれぞれ違います。まずは自分の「やる」という気持ちが大事ですが、一人で乗り越えることができないこともあります。そのような時は家族から、おじいちゃん、おばあちゃんから、友達から、先輩から、後輩から、地域の方々から、先生方に支えてもらいながら、挑戦するという行動を起こしてください。そして、あなたの支えを必要としている人がいれば、その力を貸してあげてください。**

**３学期、学校がある日は３年生が４７日、１・２年生は５２日の予定です。あっという間に卒業式、修了式を迎えます。残された時間は、このメンバーで一緒に過ごすことができる残された時間でもあります。この野村町も大きな災害から復興に向けてまだ道半ばではありますが、皆さんを含めた多くの地元の方々の復興に向けての取組と、県内・県外からの励ましや支援をいただいて今の日常があるということを、ここで今一度確認し、この３学期、次のステップに向けて「挑戦」という行動を起こしていきましょう。**

**令和６年１月９日**

**西予市立野村中学校長　浅川　和典**